

令和4年度第1回国有林モニターアンケート（結果概要）

東北森林管理局では、開かれた「国民の森林」の実現に向け、国民の皆様のご意見やご感想を適確に把握し、それらを反映した管理経営を推進するための取組の一つとして、国有林モニター制度を設けています。

この度、令和4年9月に、令和4年度第1回国有林モニターアンケートを実施しましたので、その結果概要についてお知らせします。自由意見等については、抜粋・整理して掲載しております。

今回アンケートにご協力いただきました国有林モニターの皆様に、厚く御礼申し上げます。

○アンケートの実施概要

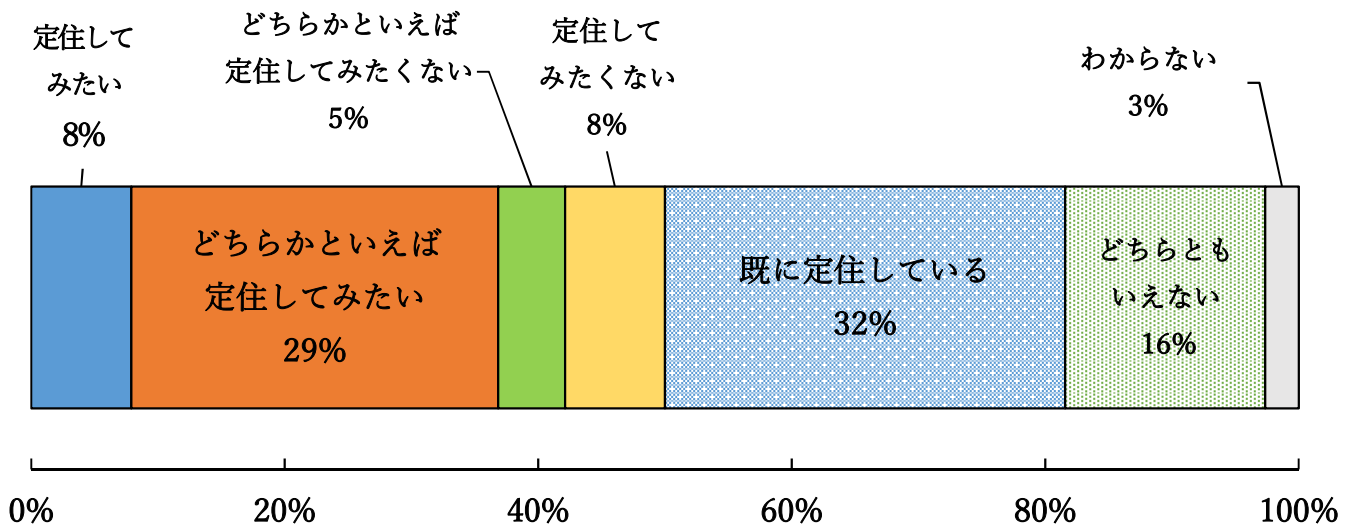
発送 : 令和4年9月22日
回答期限 : 令和4年10月7日
回答率 : 81% (47人中38人)

国有林モニター制度とは、アンケートの実施やモニター会議の開催等を通じて意見を伺うほか、広報やパンフレットで情報提供を行うなど、国民の皆様と国有林との間で、双方向の情報受発信を行う取組です。

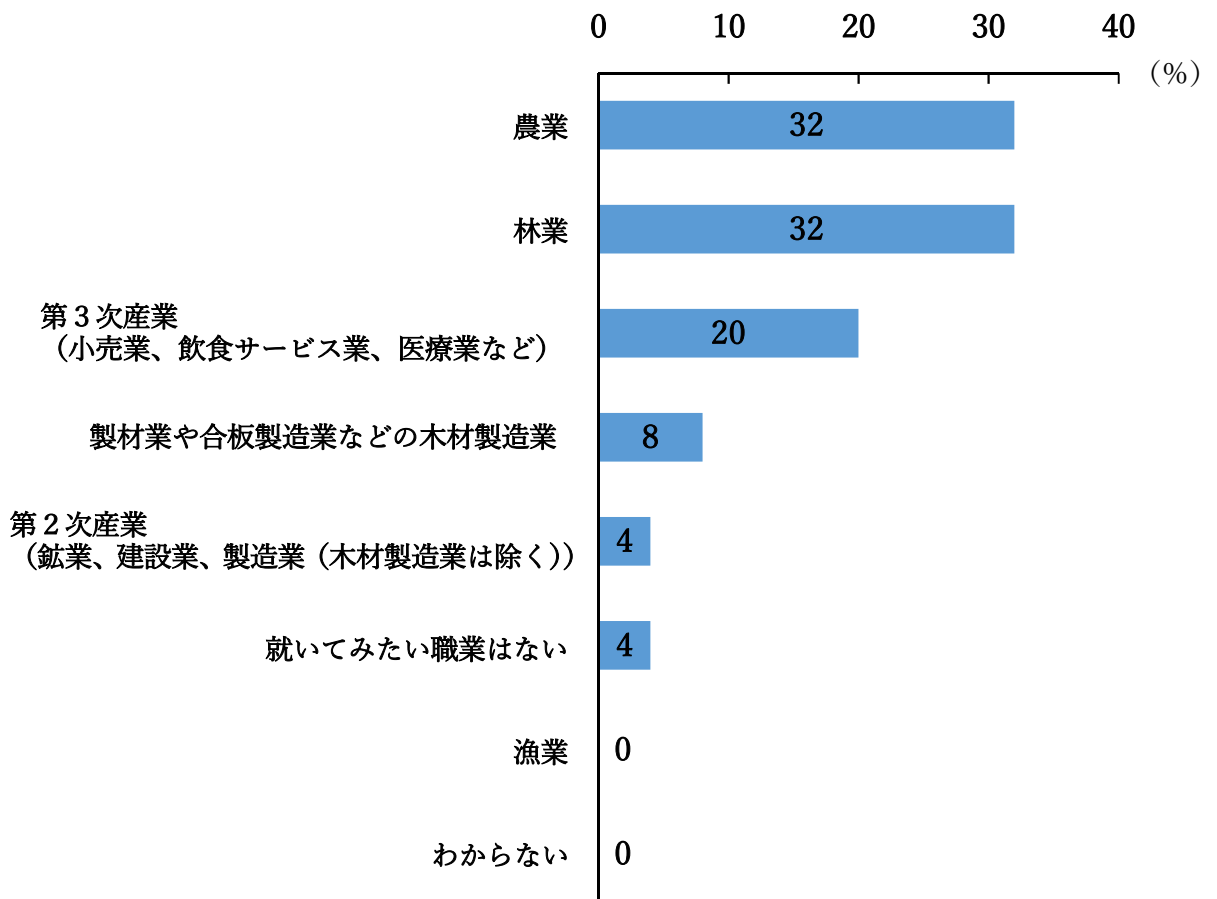
現在、令和4年4月～令和6年3月の2年間を任期として、管内5県の47名の方に国有林モニターとして活動していただいております。

1 森林・林業・木材産業との関わりについて

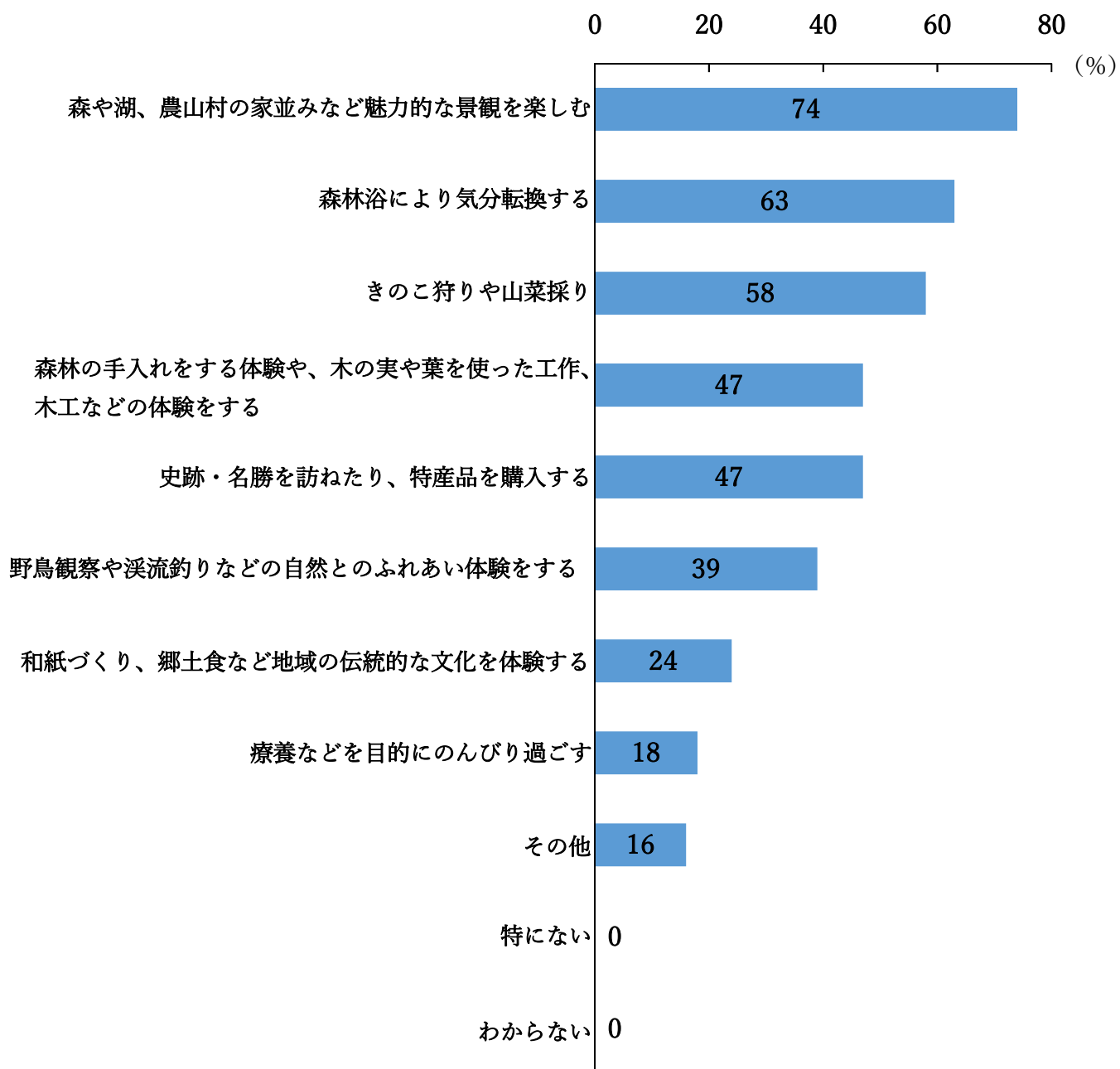
(1) ①農山村に定住してみたいと思いますか。



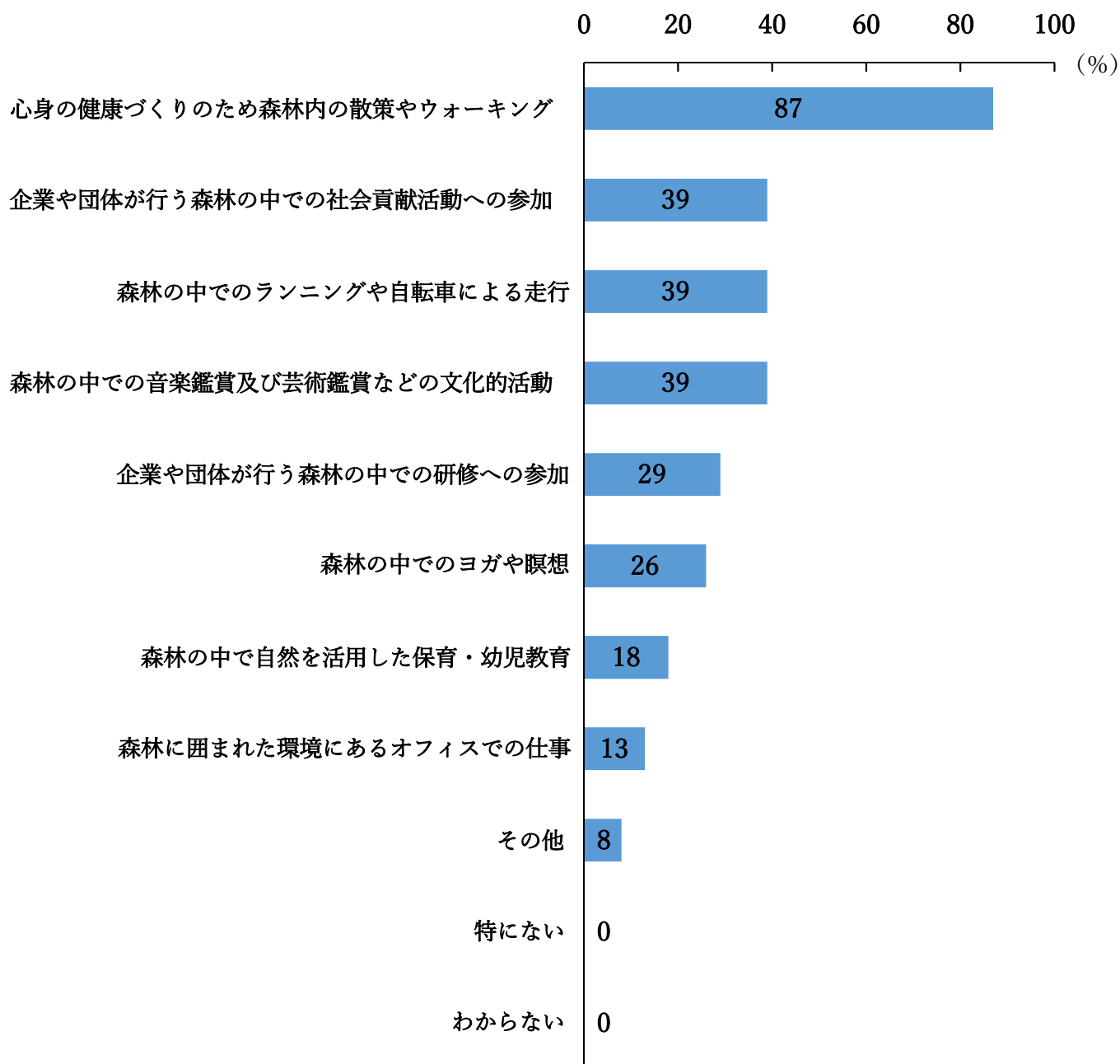
①で「定住してみたい」、「どちらかといえば定住してみたい」と回答された方
 ②農山村に定住する場合、就いてみたい職業について、当てはまるものを選んでください。(複数回答可)



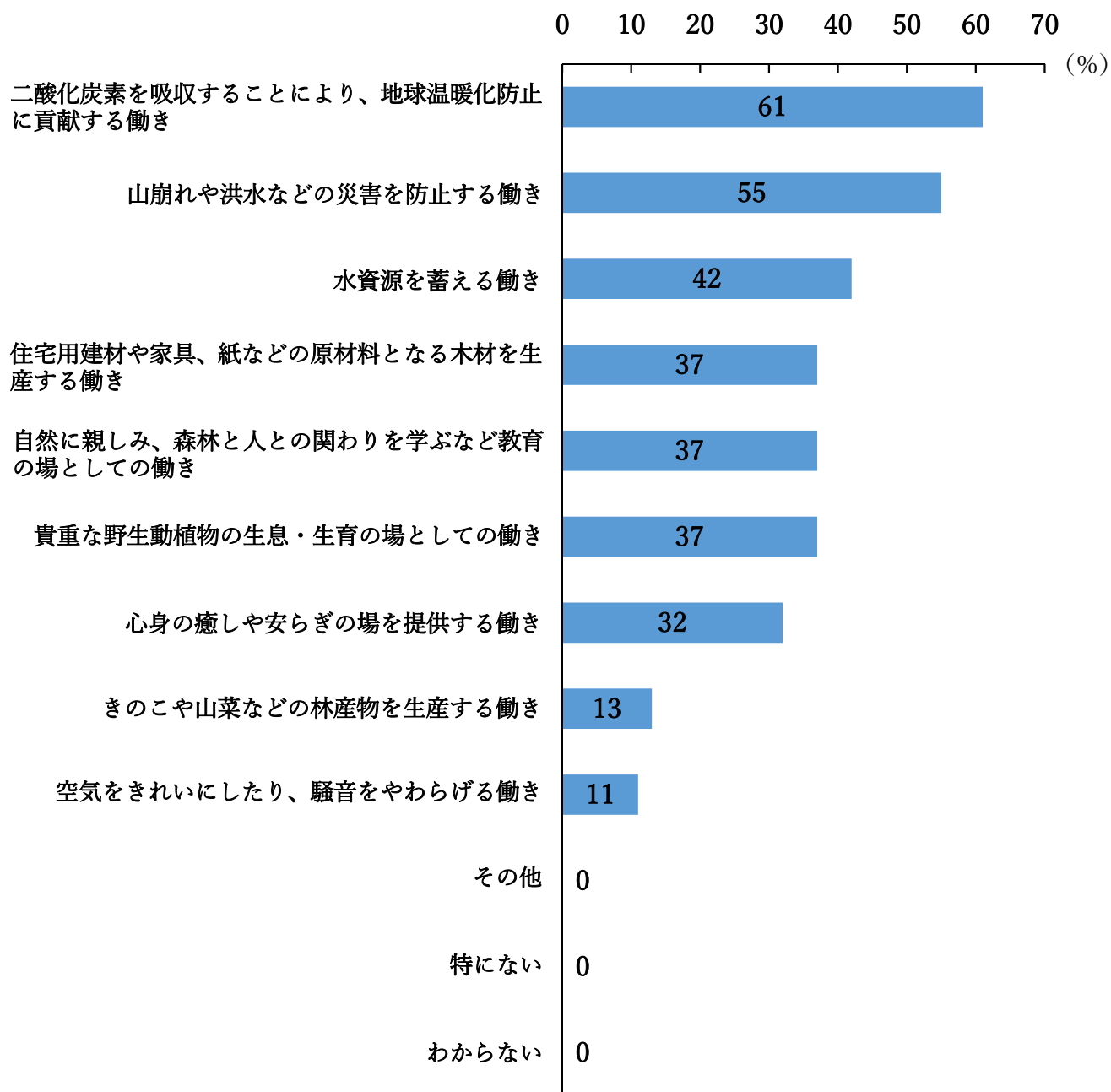
(2) あなたは、農山村に滞在して休暇を過ごす場合、どのようなことをして過ごしてみたいと思いますか。(複数回答可)



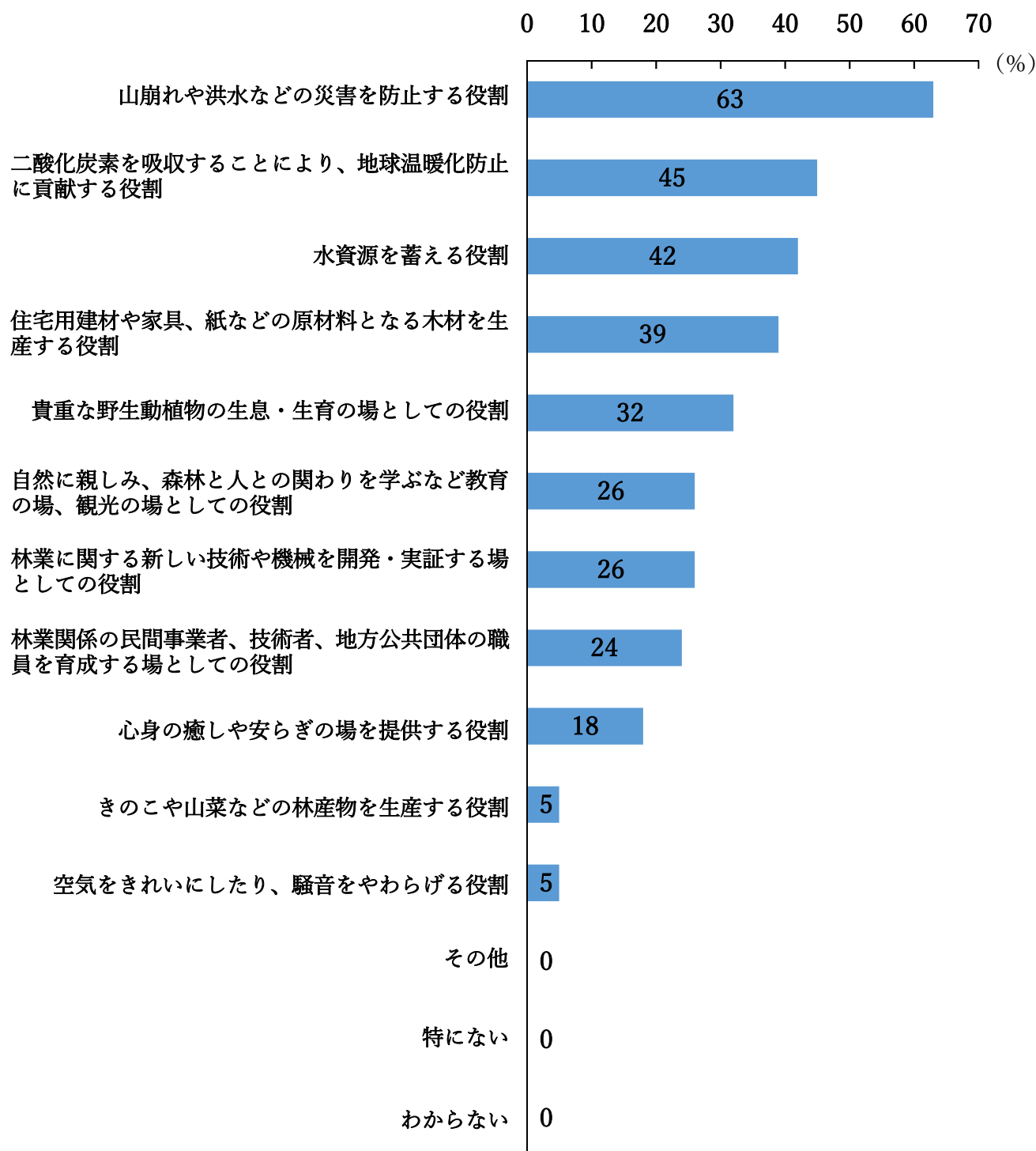
(3) 最近では、農山村に滞在して休暇を過ごすだけでなく、仕事、子育て、健康づくりなど日常の生活の一部として、継続的に森林との関わりをもつ様々な取組が見られます。あなたは、日常の生活の中で、森林でどのようなことを行いたいですか。(複数回答可)



(4) あなたは、今後、森林のどのような働きを期待しますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

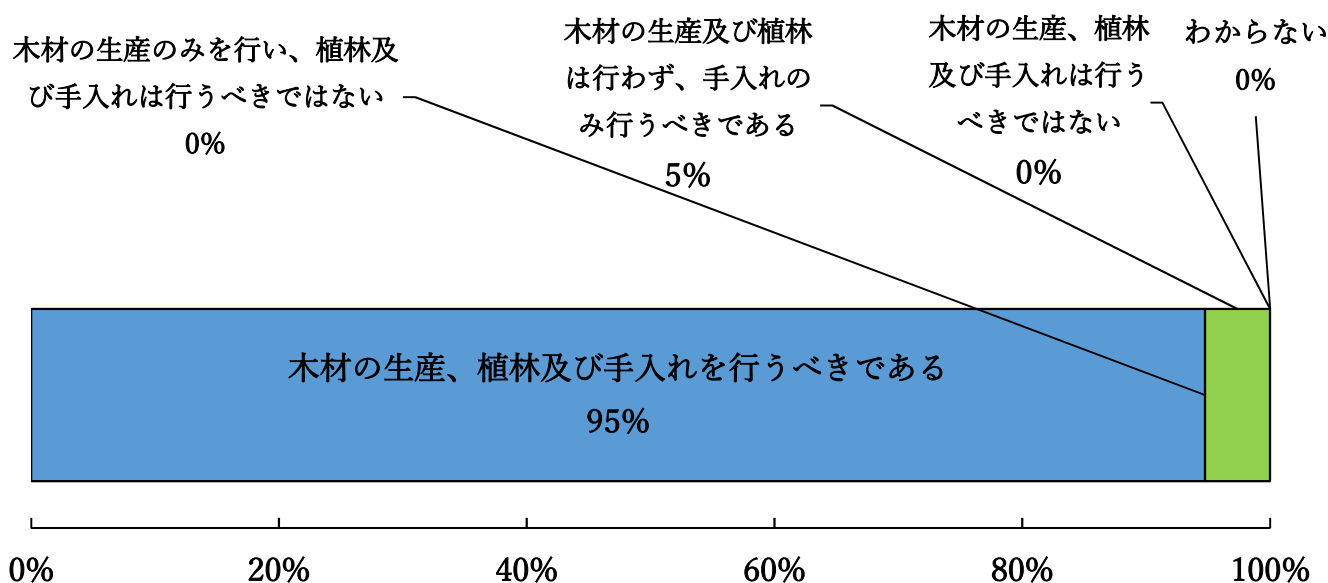


(5) 我が国の森林の3割は国が管理する国有林です。あなたは、今後、国有林は、どのような役割を果たすようにすべきだと思いますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

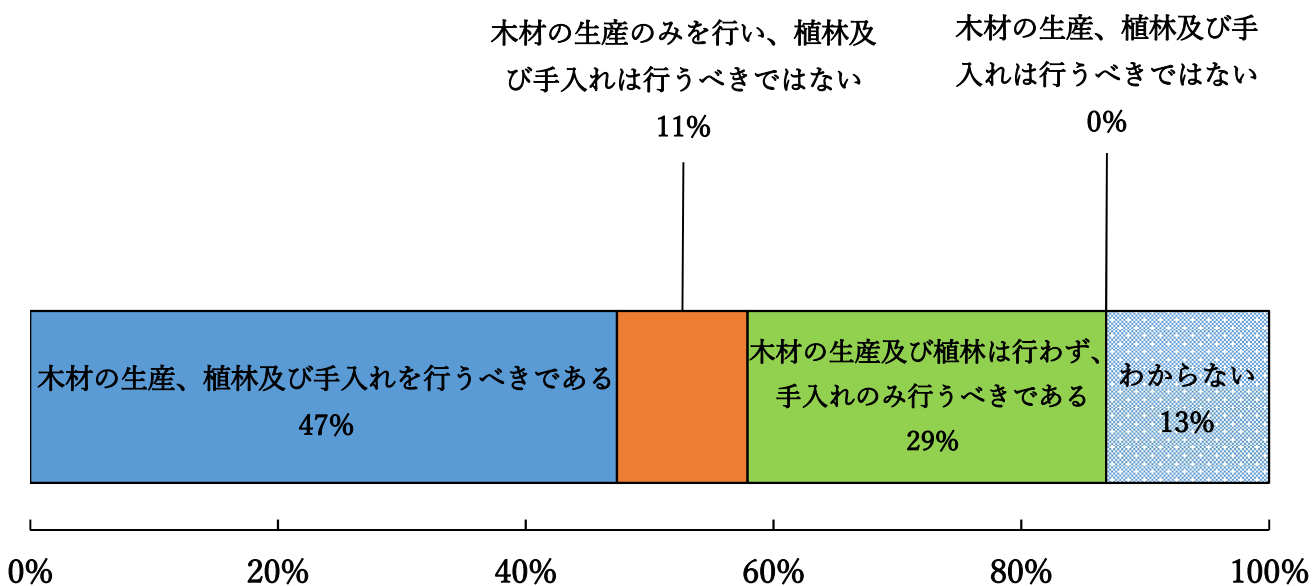


(6) 我が国の森林の約4割は、人が育てた人工林です。このうち約半分は植林されて50年以上が経過し、木材としての利用期を迎えています。あなたは、植林されて50年以上が経過した人工林について、木材の生産、その後の植林や、間伐などの手入れをどのように行うべきだと思いますか。人工林の状況に応じ、①と②について、それぞれ当てはまるものを1つだけ選んでください。

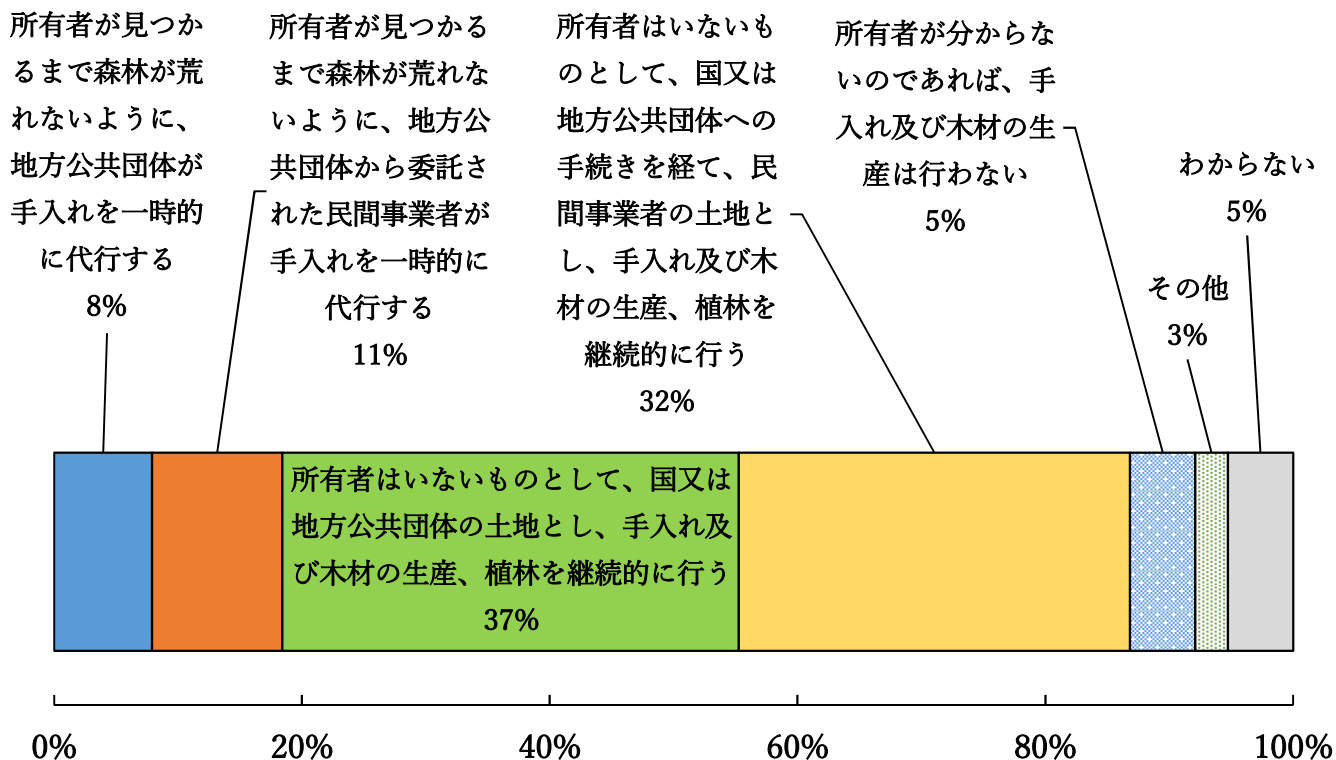
①傾斜が緩やかで、道から近い人工林



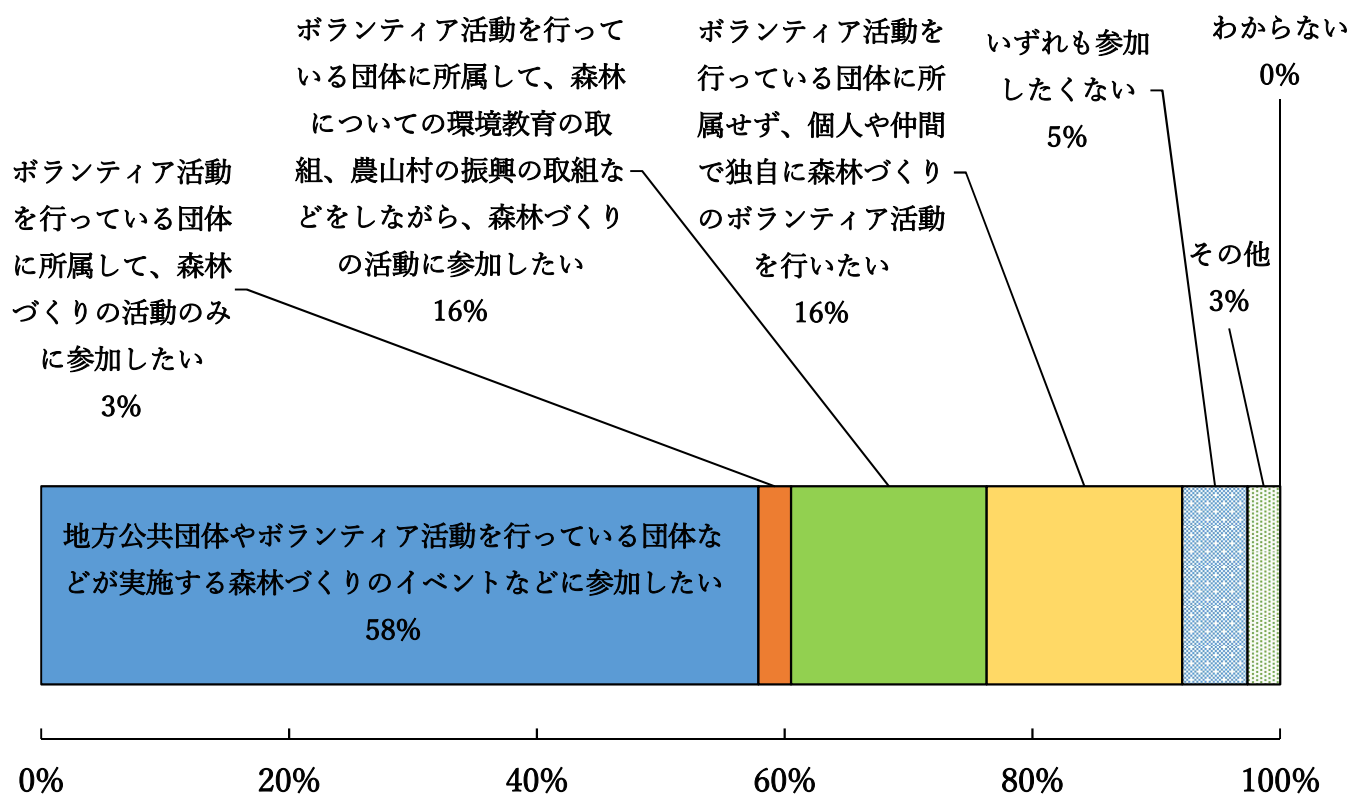
②傾斜が急で、道から遠い人工林



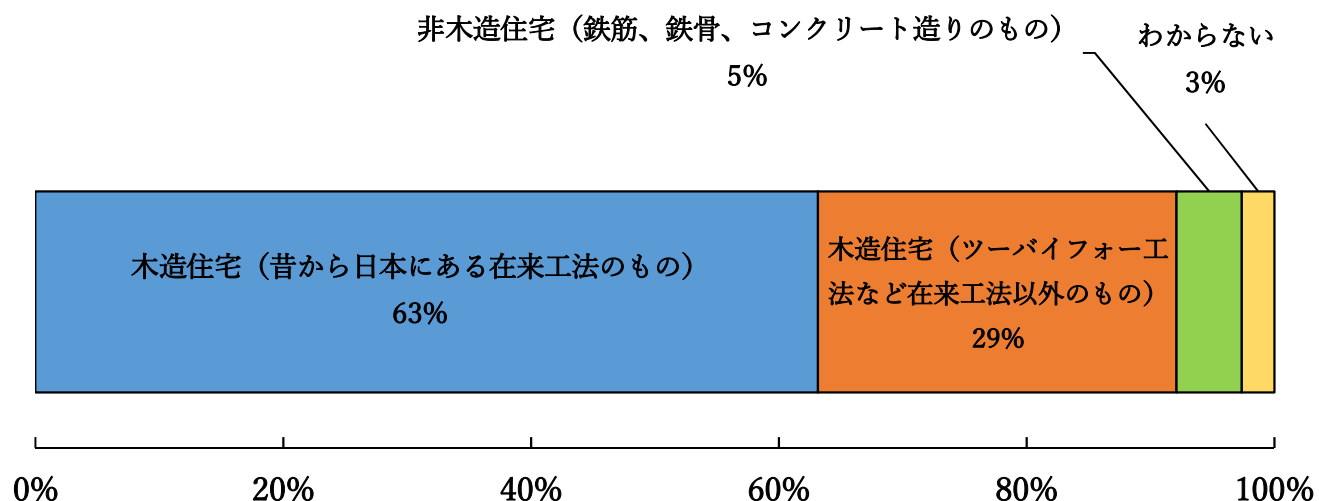
(7) 所有者が不明の森林について、間伐などの手入れが所有者自身により行われず、木が成長せずに荒れて災害が起きやすくなるなどの問題が生じています。あなたは、所有者を探してもなお、所有者が不明の森林について、どのように間伐などの手入れや、木材の生産、その後の植林が行われることを期待しますか。



(8) あなたは、下草刈りや間伐などの森林づくりのボランティア活動に参加したいと思いますか。また、どのような形で参加したいと思いますか。

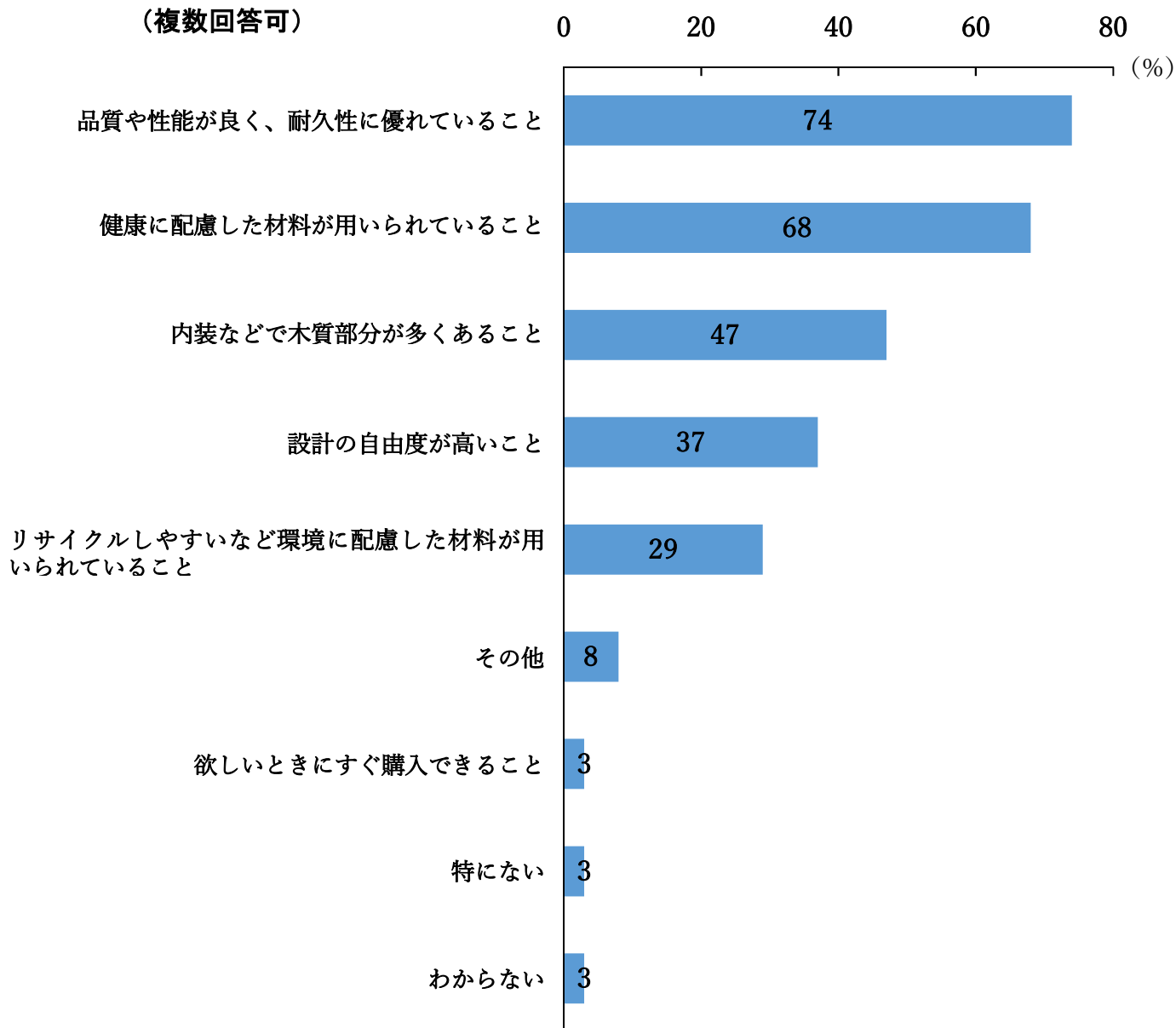


(9) あなたが仮に、今後、住宅を建てたり買ったりする場合、どのような住宅を選びたいと思いますか。

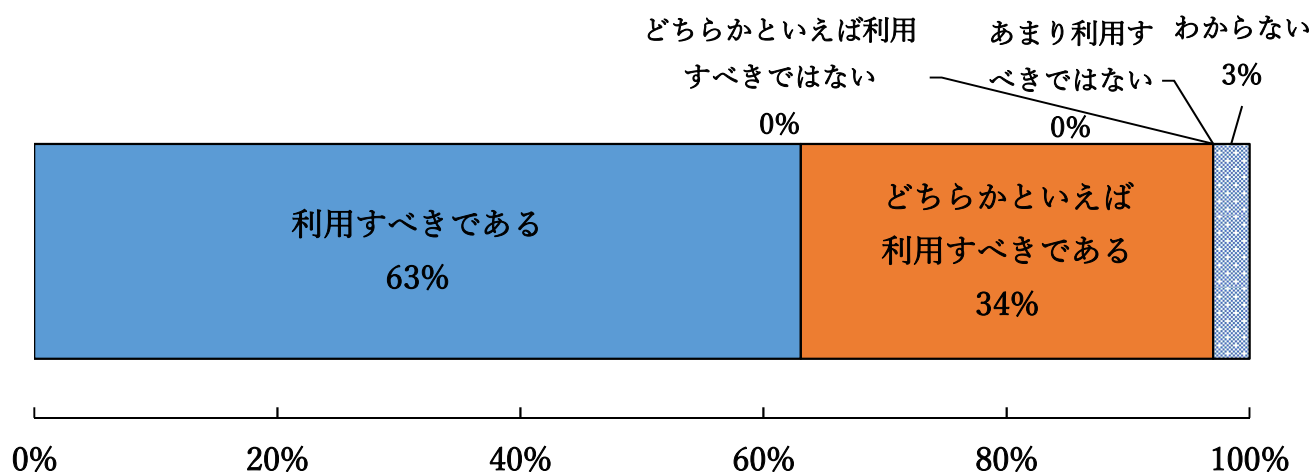


(10) あなたが住宅を選ぶ時に、価格以外で重視することは何ですか。

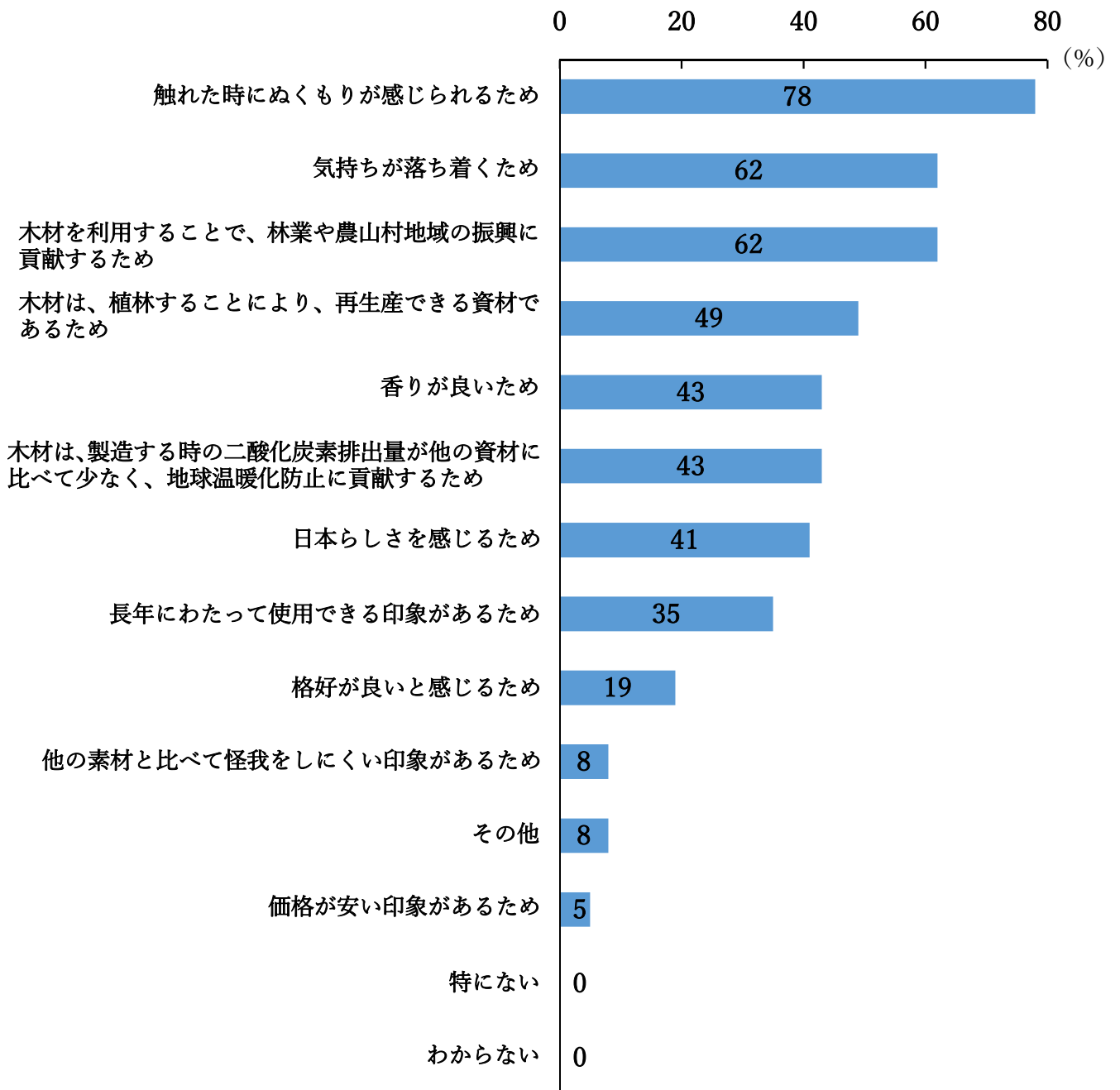
(複数回答可)



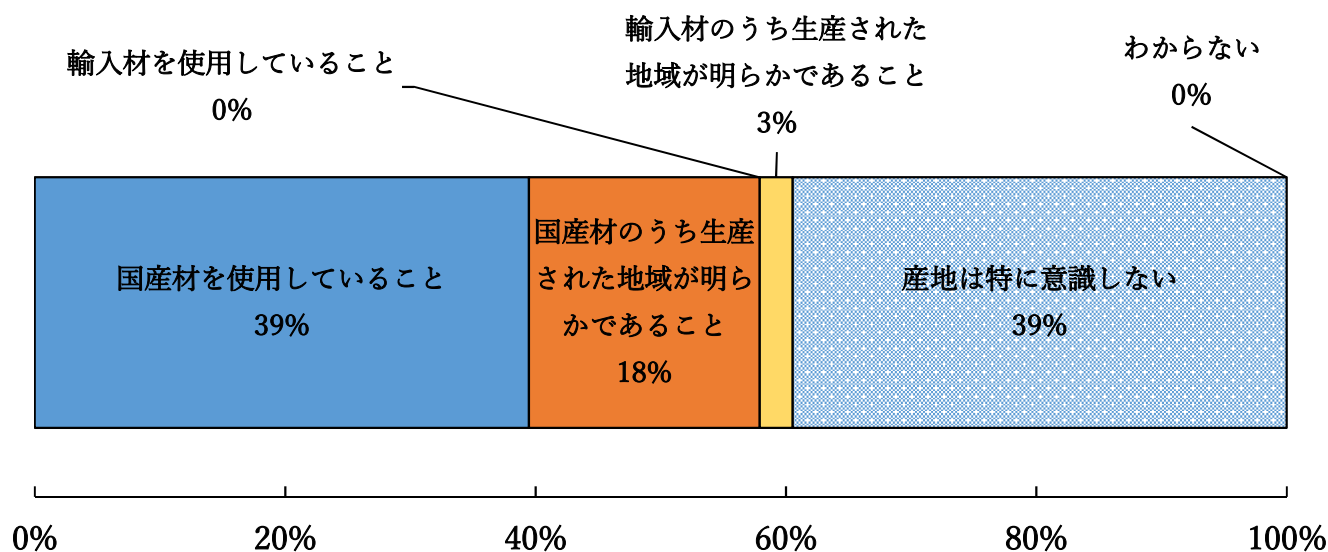
(11) ①あなたは、様々な建物や製品に木材を利用すべきと思いますか。あるいは利用すべきではないと思いますか。



①で「利用すべきである」、「どちらかといえば利用すべきである」と回答された方
 ②あなたが利用すべきと思う理由は何ですか。(複数回答可)

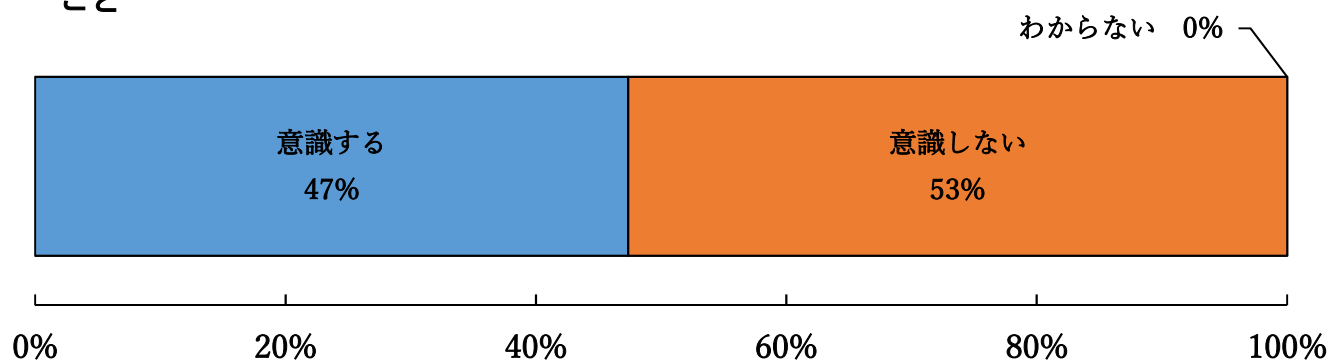


(12) 木材を使った製品を購入する場合、木材の産地について、どのようなことを意識しますか。あなたの考えにもっとも近いもの1つだけを選んでください。

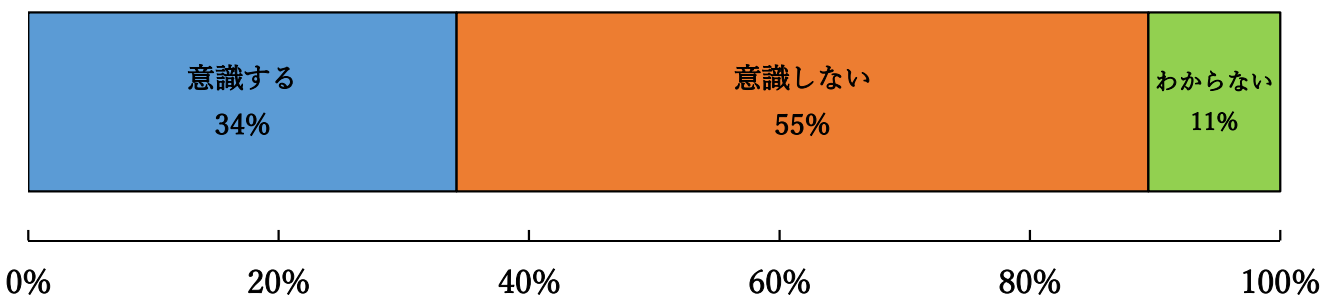


(13) 木材を使った製品を購入する場合、次の点を意識しますか。

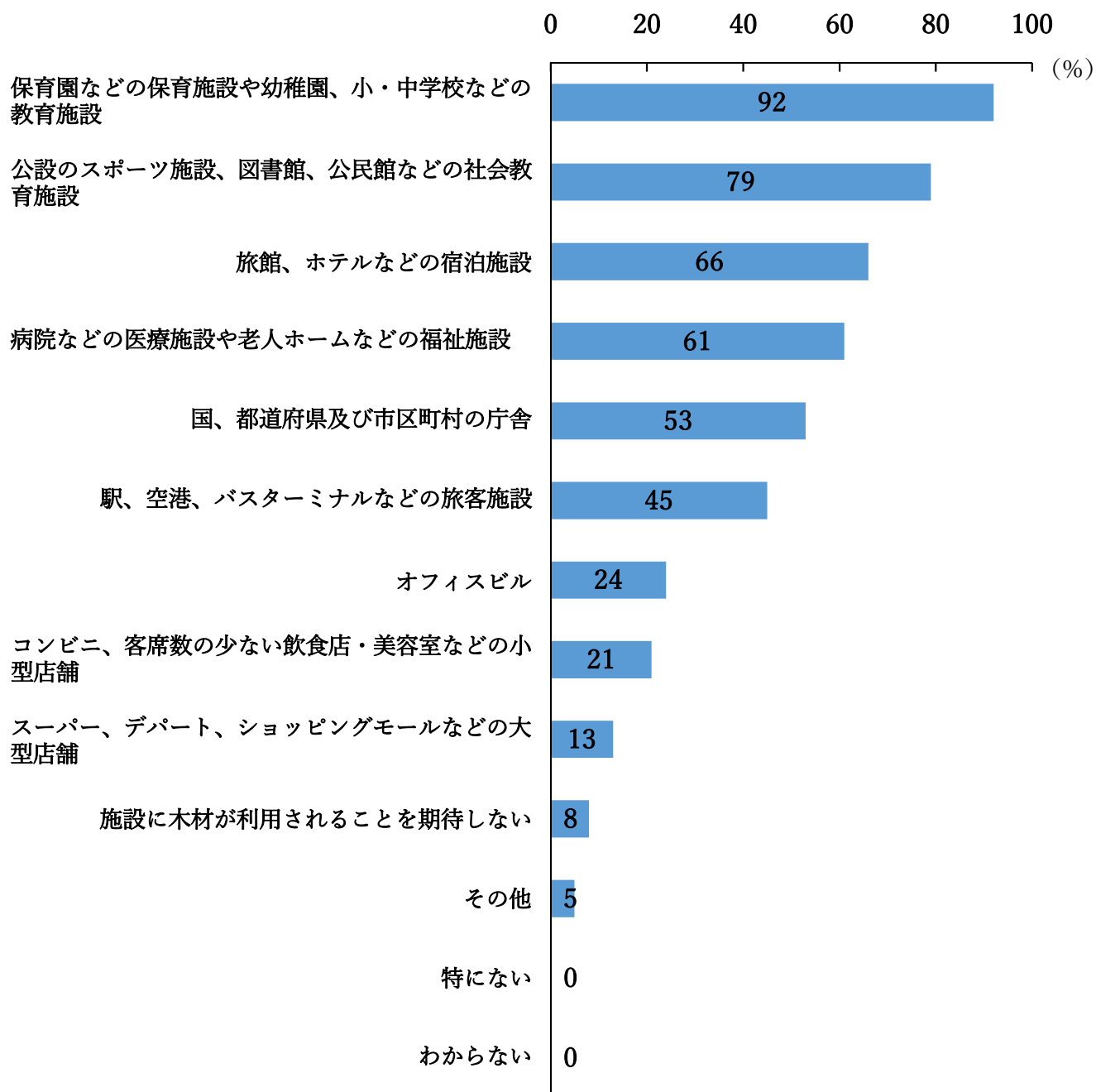
① 森林の成長を促進するために一部の木を伐採する際に発生する間伐材であること



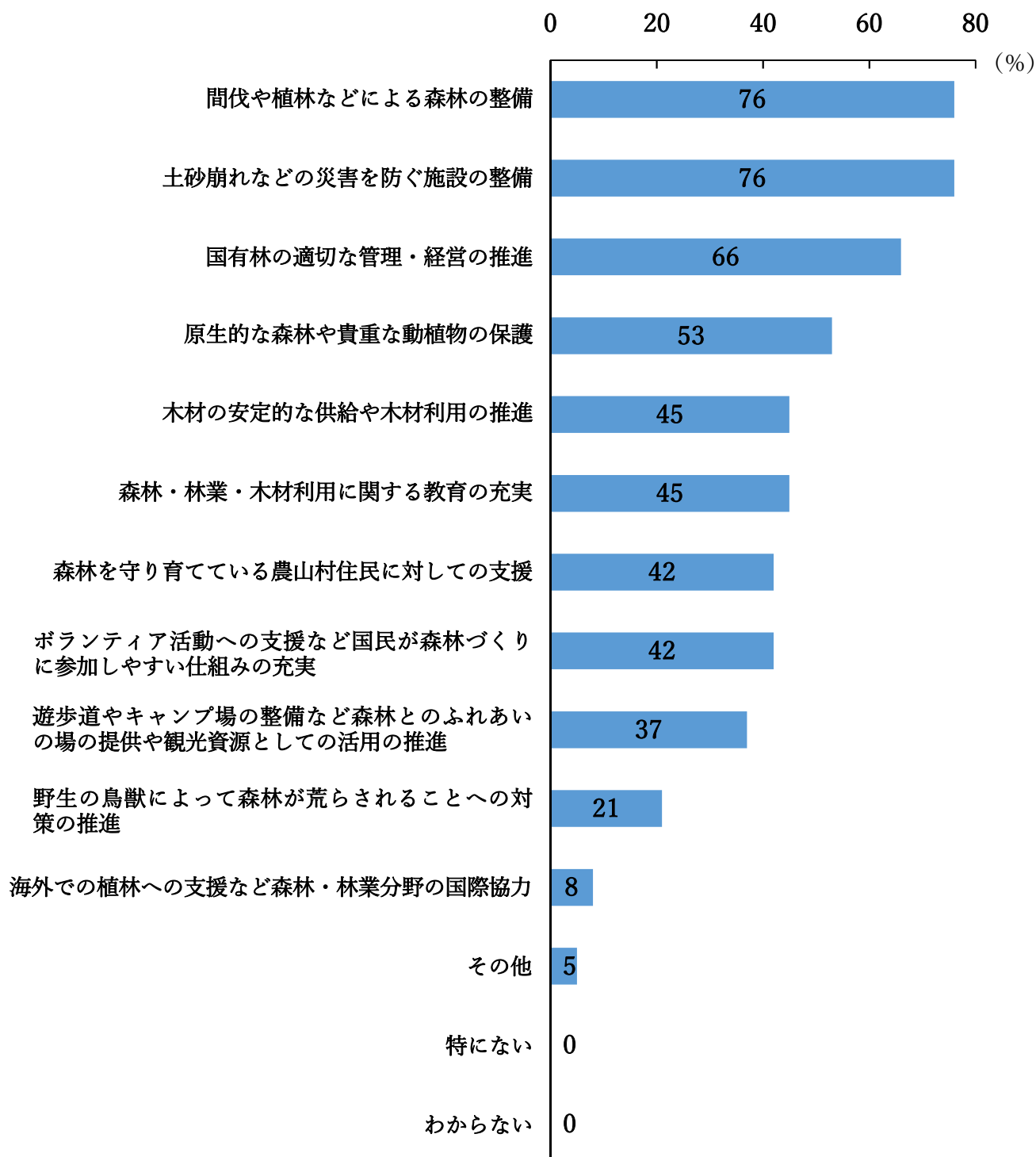
② 第三者の機関が、適切に管理されていると認めた森林から生産されたもの（森林認証材）であること



(14) どのような施設に木材が利用されることを期待しますか。(複数回答可)



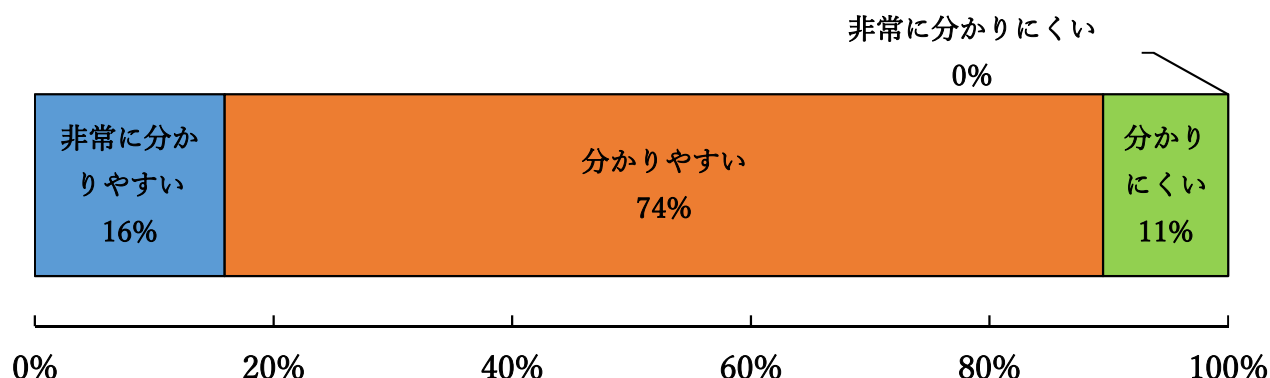
(15) 今後、森林・林業行政で力を入れて欲しいと思うことは何ですか。
(複数回答可)



2 今後の国有林モニター活動について

(1) 毎月送付している資料について、次の問いに教えてください。

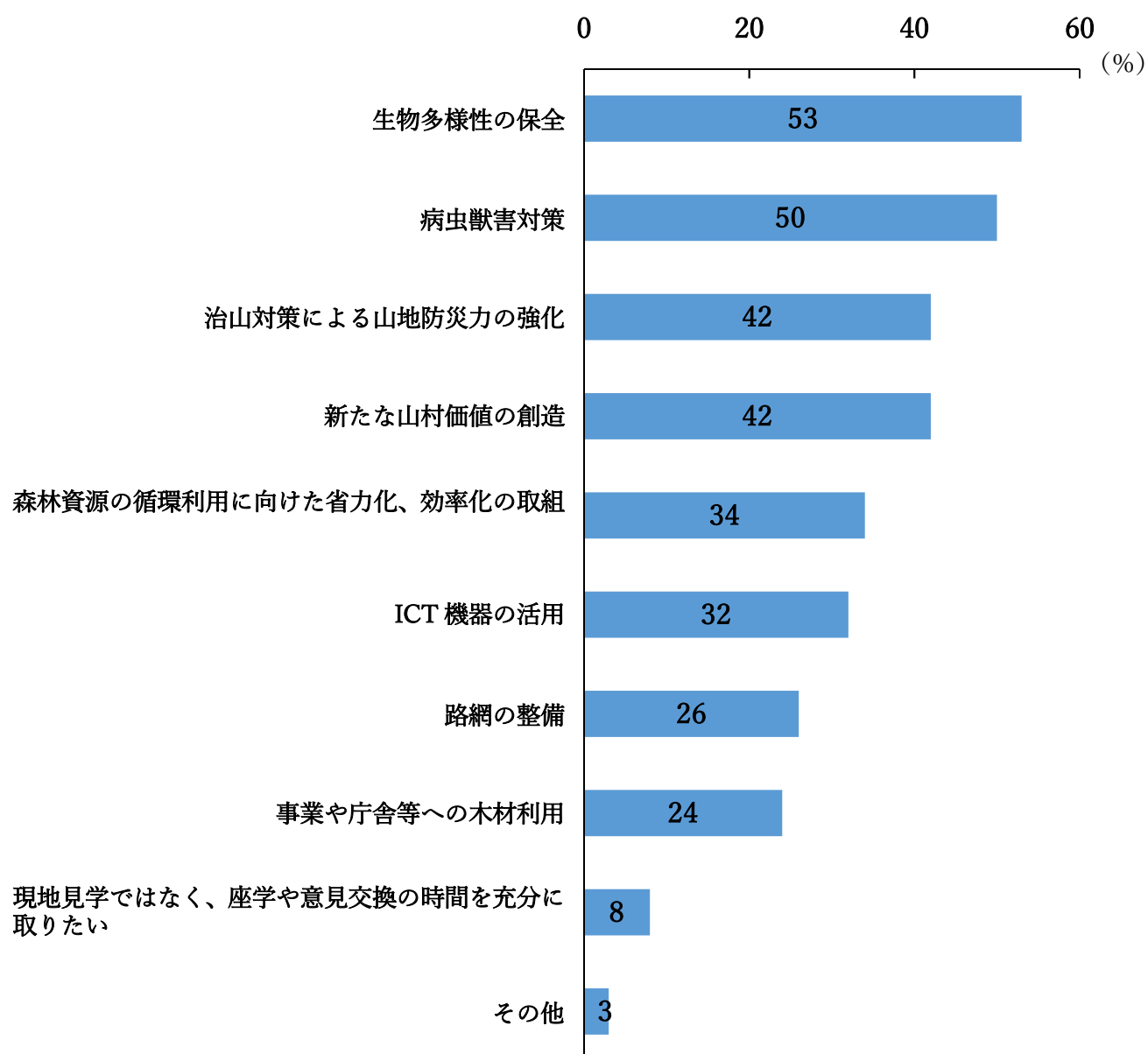
① 「今月の特集」について、当てはまるものを選んでください。



② 「今月の特集」で取り上げてほしいテーマや、ご要望などがありましたらご記入ください。

- ・ 森林管理局の役割や職務、私達の生活との関わり
- ・ 東北森林管理局の建物、構築物等
- ・ 取り組んでいることだけでなく、困っていること、目標など
- ・ 国有林モニターが「通信員」として、各地のエピソードや近況等を一口特集
- ・ 農業や漁業等、他の業種と林業との関わり
- ・ 林業経営の実際、林業従事者の賃金の実態、植林から木材を生産（製品化）するまでの手間・コスト
- ・ 将来の林業のありかた、現場で働く若い世代の姿
- ・ 林業に携わる方のアレルギー対策
- ・ 森林整備に取り組んでいる民間企業、民間団体、NPO、個人の活動、それを支援する取組
- ・ 森林ボランティア等の活動紹介
- ・ 木材利用工芸品の作品と職人紹介
- ・ FSC 認定商品の紹介等
- ・ 異常気象による動植物について
- ・ 外資による水源地周辺の原野買収について

(2) 現地見学会で見学したい内容を選んでください。(複数回答可)



<その他>

- ・ 森林保全に携わる方々との現地研修会

(3) その他、国有林モニター活動や東北森林管理局について、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

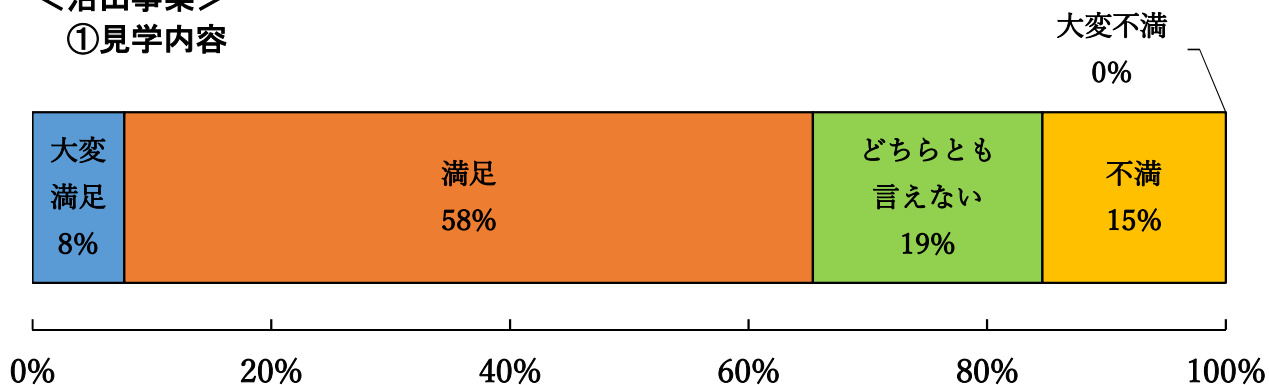
- ・ 現地見学会とは別に、住んでいる地域の支署管内をもっと案内してもらいたい。
- ・ 半日くらいでお昼で終わる短時間でのモニター現地見学会をやってほしい。
- ・ 現地見学会の際に、近隣の森林管理事務所をトイレ休憩兼見学会場としていただけると、より身近に感じられると思う。
- ・ 簡単な植林や山林整備のボランティア。問題や課題はあると思うが、きれいで理想だけでは実際の大変さはわからない。体を使ったモニターを希望する。
- ・ 現地見学会が平日になってしまう理由は理解したが、仕事をしている立場だと休みを取って参加しづらい面もある。
- ・ 自分も参加できる活動やイベント申込みの情報もあれば、参加してみたいと思う（「みどりの東北」やHPにもあるが、大人向けの森林ウォーキングとかあると嬉しい）。
- ・ イベント情報、もっとあるかと思う。沢山掲載していただきたい。
- ・ 国有林モニターを有効活用してみたい。例えば、青森市には森林博物館があるが、やりたい人が費用無しでレポートする等。
- ・ モニターになってから、今まで以上に森林、国有林に対する意識が高くなった。もっと多くの方に国有林の意義を知ってもらうため、林業専用ではない開かれた林道などがあってもよいかと思う。
- ・ 白神山地の植物図鑑や、朝日庄内いきもの図鑑などを、よく利用させてもらっている。植物図鑑は他のエリアも掲載していただきたい。
- ・ 国民が森林づくりに参加しやすい仕組みの充実。
- ・ 若年層の方々が林業に目を向けるきっかけづくりに一層力を入れてもらいたい。

3 現地見学会について（参加者のみ）

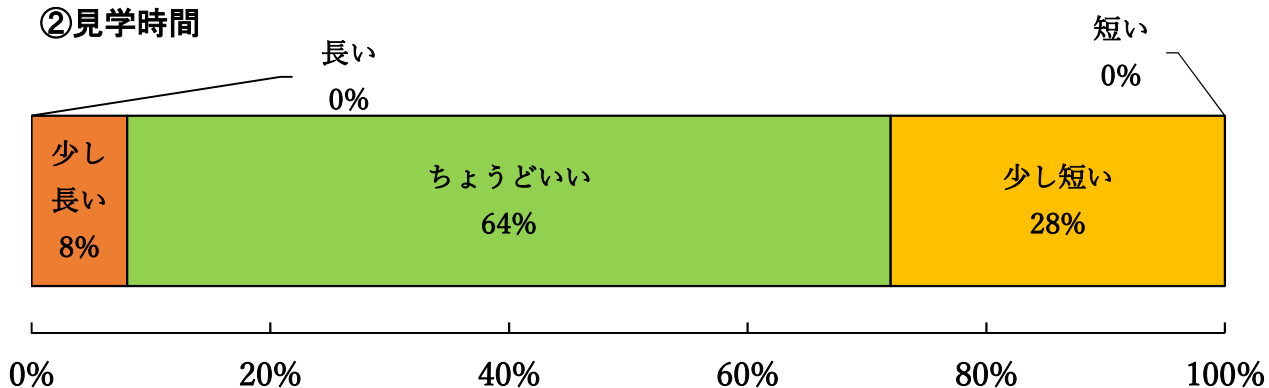
(1) 8月2日に実施した現地見学会について、それぞれ当てはまる番号を選んでください。

<治山事業>

①見学内容



②見学時間



③治山事業について、どのように感じましたか。

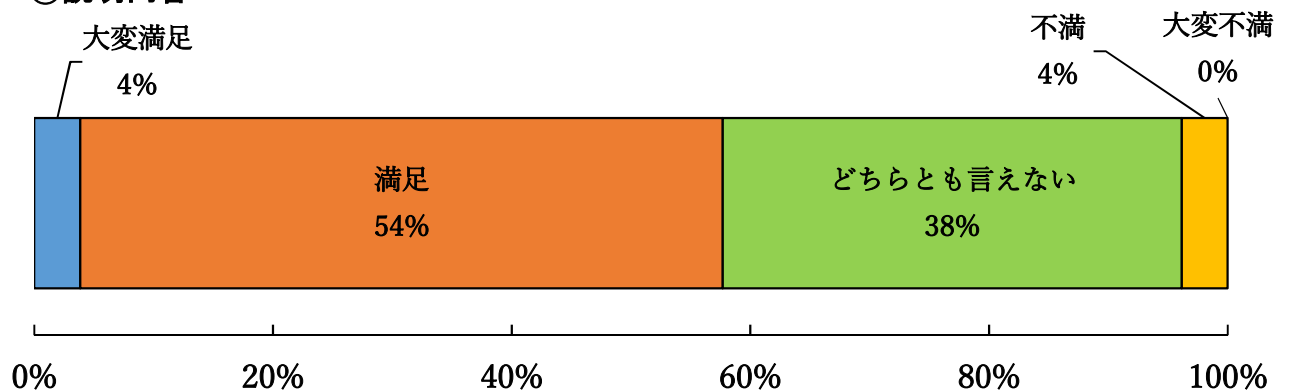
- ・ 地すべり防止のため大変な工事の必要性を感じた。このことにより、環境の安全や水源の保全ができていたことがわかった。
- ・ あまり目立たないことだが、地道に行われていることを感じた。
- ・ 山の状況に応じて様々な工法があることやスケールの大きさを感じた。
- ・ これまで知ることがなかった治山事業の現場見学は有意義で、その重要性を知ることができた。
- ・ 100年もかけての治山事業の話を伺い大変な仕事だと実感した。実際に現場を見て説明いただきとても勉強になった。
- ・ 道路を作る所からの工事に驚いた。
- ・ 山の中での作業は自然相手で大変だろうが、よく考えられており感心した。
- ・ 地下水で地滑りが発生するのを止めるために集水井戸を掘り横ボーリングし、集水する。その水を排水ボーリングする技術の進歩にすごく感動した。
- ・ 場所や地形の条件など、大変な苦労を重ねられてきた事業であると感じた。こういった事業によって、下流域の人々の生命や財産が守られていることが理解できた。
- ・ HPや、紙面で見るとは違って、治山事業が私達の生活を支えていることを痛感し、何も無いような山から、一つ一つ作り上げていることに森

林管理局の仕事の大変さが伝わってきた。

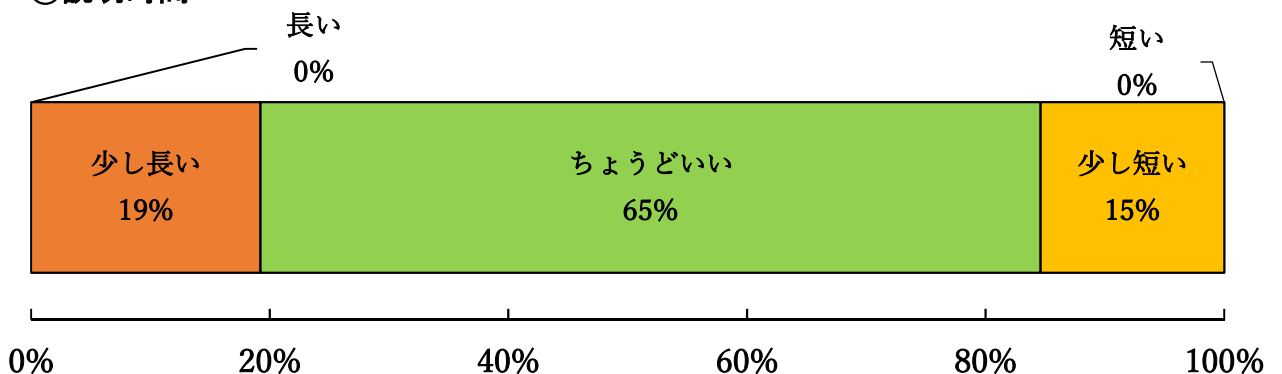
- ・ 深い山奥できれいにブロックされている現場をみてすごい工事なのだと思った。
- ・ 荒天だったので、尚更土砂崩れ防止に役立っていると実感できた。
- ・ 悪天候の中で説明だけだった。実際にダムまで降りたり工法を見たりできたらよかった。
- ・ 天候は仕方ないが、悪天候の想定をして内容を変更してもよかったのではないか。
- ・ 必要だが、工法に工夫して、環境への影響を軽減した構造が望ましい。
- ・ 本当に必要なのか？別な方法はないのか？と感じた。
- ・ コストや自然環境等の負担が大きいのではと感じた。
- ・ 必要だと思うが、根本的には自然体では無いと思う。
- ・ 同じ箇所の治山工事を実施しているという事は、将来的な構想や環境変化に対応出来ていないと思われる。一度で完結できるようにお願いしたい。
- ・ 下流にある水源や暮らしを守るため、知らない所で約100年にもわたり、治山事業が行われていると知り、驚いた。それと同時にコンクリートで固めたり、人工的に水の流れを制御することで水害対策が行われているという現実「一体いつまで？」ということと、そもそもコンクリートで水の流れを変えたり押さえ込む以外に地すべりの被害から下流を守る方法がないものだろうかと率直に感じた。
- ・ 今度はドローンからの撮影を見てみたい。

<岩手南部森林管理署の概要>

①説明内容



②説明時間



③森林管理署の業務について、どのように感じましたか。

- ・ 多種多様で大変な業務内容、100年先を見据えて頑張ってもらいたい。
- ・ 現場が遠いので色々危険な事もあるだろうと思った。安全第一で頑張ってください。
- ・ 動植物・人類の生命維持のための業務だと思った。
- ・ 職員の方々の懇切丁寧な応接ぶりに仕事への自負を感じた。広大な東北の森林。先祖が守り抜いて、生かしてきた自然の恵みを守り育てているのに感謝しかない。女性職員が生き生きと活躍しているのが一番印象に残った。林野庁の女性を大切に作る姿勢が現場に見受けられ好感を持てた。
- ・ 国有林野の管理経営は良く出来ていると思った。また、将来に向けての様々な取り組みも良かった。
- ・ 森林を資源として活かす為の取組や森林経営の効率化の為に、コスト削減やナラ枯れ対策の試験等が行われていることがよく分かった。
- ・ 国有林内のレジャー拠点（キャンプ場や見晴台、登山口など）に、その近隣に行われている治山事業を紹介する看板などを設置してより効果的に事業をPRすべきと思った。
- ・ 民間の森林とかは今は放置されている所もあって管理の大変さを感じる。国有林は行政の手が入っているので道路もよく森林の状態も違う感じがする。森林の価値とかをアピールするのいいと思う。
- ・ 林道の維持管理がされていて良かったと思った。現地に行き、もっと森林管理局の仕事と役割について、知りたいと思って帰ってきた。
- ・ 残念ながら荒天で座学のみとなったため、理解が不足してしまった面はあったかと思う。
- ・ 説明と資料から、実際の現場作業は民間委託されているのだと初めて知った。そこで、恐らく入札に付すのですが、どの程度の作業単価で契約されているのか？最低賃金のように県毎に異なるのか？ についても興味がある。今後の活動過程で理解できる機会を期待する。
- ・ スライド資料や動画などがあるとわかりやすかった。
- ・ 特に若い世代がやりたがらない分野のため、今後どのようにしたら継続していけるかと考えさせられた。
- ・ 専門の知識を持っている方々の集まりなのだろうと思ったが、民間の林業従事者の質問や回答には今ひとつと感じた。
- ・ 林業の活性化で機械化や低コスト化・省力化に取り組んでいく。これで実際に民有林で利益があがるものなのか？

(2) 今回の現地見学会について、ご意見・ご感想等がございましたら教えてください。

- ・ 現地までの移動距離が長く、バスの車窓の景観の印象だった。
- ・ 直接現場を見て説明を聞くことで、森林施業の重要さが実感できた。
- ・ 山の中なので天気は期待出来ない事が多いと思うが、色々知れてうれしい。最近はおちこちで氾濫があるので山の重要性が知ることができた。
- ・ 治山事業の見学があまりに至れり尽くせりでもったいないと感じた。危険でなければもう少しふみこんだ内容を見せてもらいたかったように感じる。
- ・ やはり大変な荒天だったので、現地には大型テントを用意するなど、雨対策があってもよかったか。できれば現地を歩きながら、治水現場の状況などを間近に見たかった。見学会は台風の時期は避けたい。
- ・ 現地の工事内容の説明だけでなく、なぜ〇〇の現地工事をまず選択したのか、そのための現地工事にたどりつくまでの山道整備など事業全体像の説明を出発時点で説明してほしい。
- ・ 雨の中、様々に変更もあり大変だったと思う。天候で仕方のなかった事と思うが、全体として遠方までわざわざ行かなくても、説明だけで済んだような視察になった印象だった。次回、天候が良く、現地に行っておそ分かったり、納得できる見学会となることを期待する。
- ・ 悪天候で、メモを取ることが出来なかったし、車の中にセットされていたPCの映像もよく見られなかった。
- ・ 雨で資料が見られなかったので、資料をPCに映しだしてもらいたかった。
- ・ コロナ対策しっかりされていて良かったと思う。
- ・ 自然がステージの行政機関でありながら、女性職員も大勢活躍されていることに触れ、業界のイメージと将来が明るく感じられた。昇進についてもジェンダーフリーが進むことを期待する。広報の就任退任挨拶は男性管理職ばかりのようで…少し気になる。
- ・ 初めての参加で、参加者の自己紹介とかあれば、もう少し、和らいだ雰囲気での討議等が出来たのではないかと感じた。
- ・ 他のモニターの方々や職員との交流の場があると良いと思った。